

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

宮城の伊達な杉の家

グループの名称

宮城の伊達な杉の家を創る会

直近採択グループ番号

04-0248-0083

(グループ代表者)

代表者名

木村 昭俊

代表者印

代表者所属先

株式会社 山大

代表者所在地

宮城県石巻市潮見町2-3

代表者電話番号

0225-93-1111

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 山大

事務局担当者名

矢野 広光

印

事務局郵便番号

986-0841

事務局所在地

宮城県石巻市雲雀野町一丁目7-1

事務局電話番号

0225-93-1112

事務局FAX

0225-93-9300

事務局担当者E-mail

h-shishido@yamadai.com



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)	21	戸						
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)	32	戸						
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	20	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	7	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)	1	戸						
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)	2	戸						
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)	0	戸						
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)	1	戸						
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)	0	戸						
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
申請が未確定(上限100万円)		0	戸							
加算申請		上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)	0	戸							
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)	1	戸							
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)	0	戸							
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)	10	戸							
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟						
			0	m <sup>2</sup>						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m <sup>2</sup>						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	申込受付は「先着順」 ○長寿命型:経験・未経験それぞれ上限戸数を設定 ○高度省エネ型:上記同様 ※採択枠に達しない場合は、上限戸数枠を撤廃し追加申込を受け付ける									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	33	戸						
	交付申請戸数	33	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	33	戸				
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 宮城の伊達な杉の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 宮城の伊達な杉の家を創る会	(結成年) 2008年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0248-0083	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	H25年省エネ基準による地域区分では、宮城県はほぼ4地区に該当するが、グループで作る住宅は「長期優良住宅先導モデル」仕様をベースとし、ゼロ・エネ住宅、認定低炭素住宅を前提に、ワンランクUPの3地区の断熱性能を目指す。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	もともと家は、身を守るシェルターとして、財産を守るためべきものです。東日本大震災の被災地でもある宮城県に建てる住宅として耐震等級2以上を目指す。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	震災復興として建てられた住宅がそれぞれの思惑で建てられてしまっははとも切ないものです。私たちグループは、住宅は子供や孫に残すべき財産として、美しく調和のとれた建物であるべきと考えており飽きがこないシンプルなデザインを目指しています。	○
④①～③の背景	県内の優良中小事業者で「宮城の伊達な杉を創る会」を組織し、先導モデル事業の実施を機会に、つくり手としての中小事業者の知識と技術力を目指し、ストック型社会に向けた次世代の住宅の在り方について、一般ユーザーに普及啓蒙活動を行い今日に至っています。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	構造・羽柄・合板・外壁サイディングに至るまで襜褕プレカット加工して震災復興の人手不足を補う住宅を目指す。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材を使用したプレカット入カルールによる対応	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
②-1 建材・資材調達の商品化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の申請サポートや個別相談、施策情報の収集	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの長期優良住宅基準として、維持管理等級3担当以上とする	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤保証制度による地盤調査を行い、保証書のコピーを事務局保管する	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループではプレカットによる一生産体制により射体積算が確立されており、グループの参考見積書形式に沿った見積書作成を推奨している	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HPやラジオCM等で地域企業としての信頼・知名度UPを図る	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 宮城の伊達な杉の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 宮城の伊達な杉の家を創る会	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0248-0083	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の保管を第三者機関へ委託する	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の保管を第三者機関へ委託する	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関への履歴登録証明書のコピーを事務局保管する	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで独自開発した住宅情報管理システムにより1年・2年・10年・20年・30年の定期点検の実施を推奨	○
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅管理情報管理システムにより定期点検時期を確認の上実施	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでは実務者研修会を開催しており管理についての内容を事務局で企画検討する	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 森林組合やNPO法人が企画する植林事業への参加を会員へアナウンスの実施	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでは新築住宅建設に伴い「構造見学会」か「完成見学会」のどちらか1回の開催を行う	○
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成保証システム「住まいるガード」を用意し、任意加入ではあるが万が一に備えた体制を整備	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社に依頼し研修会を実施	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験会員向け研修会を企画検討	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでは構造射体の許容応力度計算の実施を推奨している	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ代表である株式会社は復興及び公共事業木造化に向けた地域材の増産体制を確立する	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年にゼロエネルギー住宅を50%と出来る会員企業を増やす	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロエネルギー住宅建設の為の実務者研修会の実施	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 70 今年度の参加目標人数 80	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 38 今年度の参加目標人数 50	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で講習会開催日程を入手し会員へ通知する	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ代表の株式会社は地域材を活用した木質繊維断熱材を供給を計画	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 宮城県と連携し、CLT等新規木材加工に関して製品化に向けて実験等に取組む	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 宮城の伊達な杉の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 宮城の伊達な杉の家を創る会	(結成年) 2008年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0248-0083		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	主要構造材につき、次の証明制度を利用する ・土台:合法木材証明制度(国内) ・柱:合法木材証明制度(国内) ・梁桁:合法木材証明制度(国内・国外) □ 50%未満    ■ 50%以上    □ 80%以上 土台: □ 使用していない    ■ 使用している 柱: □ 使用していない    ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: □ 使用していない    ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している 	◎
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 ①-2 地域材価格の共有の仕組 ② グループ全体における地域材の需給予測	□ ない    ■ ある → 内容: グループ代表である株式会社宮城が自社にて在庫を把握している □ ない    ■ ある → 内容: グループ代表である株式会社宮城が会員へアナウンスしている □ 行っていない    ■ 行っている → 内容: グループ代表である株式会社宮城で製材工場及び人工乾燥機の増設を行い、増産体制を確立	◎
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: ■ 行っていない    □ 行っている → 内容: □ 行っていない    ■ 行っている → 内容: □ 行っていない    ■ 行っている → 内容: ■ 行っていない    □ 行っている → 内容: ■ 行っていない    □ 行っている → 内容:	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: □ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 震災後再建される住宅も地域材を活用した無垢材での住宅を提供し、地元再建を図る。 ■ 行っていない    □ 行っている → 内容: □ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 地域材である『宮城の伊達な杉』を内装材に使用することにより、和テイストの柔らかい住空間の提供が可能となる。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			
東日本大震災の復興に資する取組	グループ会員の多くが震災復興に向けた取り組みとして地元工務店協同組合に所属し、災害公営住宅建設に取り組み、長期優良住宅の建設に貢献している。また、『宮城の伊達な杉』を最大限に活用した構造材の部材供給をプロポーザルにて提案し、建設に着手している。	◎	
平成28年熊本地震の復興に資する取組			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 宮城の伊達な杉の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 宮城の伊達な杉の家を創る会	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0248-0083	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

地域材ブランド「宮城の伊達な杉の家」の仕様は耐震等級2、省エネ等級4、維持管理等級3、劣化対策等級3 を基本として、その普及啓蒙のために県内の優良中小事業者で「宮城の伊達な杉の家を創る会」を組織し、先導モデル事業の実施を機会につくり手としての中小事業者の知識と技術力の向上に努めるとともに、ストック型社会に向けた次世代の住宅の在り方について広く一般ユーザーに広告を継続して今日に至っています。H25年省エネ基準による地域区分では、宮城県はほぼ4地区に該当するが、グループで作る住宅は『長期優良住宅先導モデル』仕様をベースとしており、ゼロ・エネ住宅や認定低炭素を前提にワンランクUPの3地域をクリアする断熱性能を目指している。そのため、「宮城の伊達な杉の家」はすでに認定低炭素住宅の基準をほぼクリアしており、その他設備関係の省エネ化を図り、また、認定低炭素住宅の仕様を基に非住宅の優良建築物実現を目指す。また、省エネルギー住宅としてのベースを有する宮城の伊達な杉の家は、国策である2030年に新築住宅の50%をZEH化に向け、BELS認証取得する形で実現を目指します。